令和7年度（2025年度）
教育研究所設置委員会成果発表会

学力向上推進委員会
～国語部会～

あなたのみちを、あるけるまち。八王子

令和８年（2026年）１月19日（月）
学力向上推進委員会（国語部会）

令和7年度「はちおうじっ子ミニマム」について

【目 的】

（１）社会生活を営む上で最低限身に付けるべき
基礎的・基本的な学習内容を確実に習得させる。

（２）自らの定着度を把握し、目標や課題を明確にした上で主体的に学習に取り組めるようにする。

（３）学校は、児童・生徒の結果を経年で把握し、一人ひとりの定着度に応じた指導方法の改善を行う。

課題意識

はちおうじっ子ミニマムを実施し、分析をしたものの・・・

どこまでさかのぼって教えたらよいのだろう…。

既習内容を活かすにはどのようにしたらよいのだろう…。



課題意識



言葉の見方・考え方を働かせることは、
これまでに学習したことを活かすこと
につながるのではないか…。

授業や宿題等で工夫ができれば、
学力向上につながるはず…。



言葉の見方・考え方について
授業等での工夫が必要 

令和7年度研究主題

『はちおうじっ子の基礎的・基本的な学力の定着をめざして』

～言葉による見方・考え方を踏まえた授業改善を通して～

「はちおうじっ子ミニマム」の結果から
「漢字の読み」、「漢字の書き」、「漢字の正しい使い方」、「文章読解」の4つの視点に課題が見られた。

・漢字が書けない、思い出せない。

・語彙が少ないため意味を推測しようとせず、諦めてしまう。



児童生徒の声

・楽しく漢字学習をしてほしい。

・語彙を増やし、粘り強く取り組んでほしい。



教員の声

４つの視点

漢字の読み

漢字の書き

漢字の正しい使い方

文章読解

漢字の読み・書き

実践例「漢字ビンゴ」

家	歌	回
星	室	角
馬	門	麦

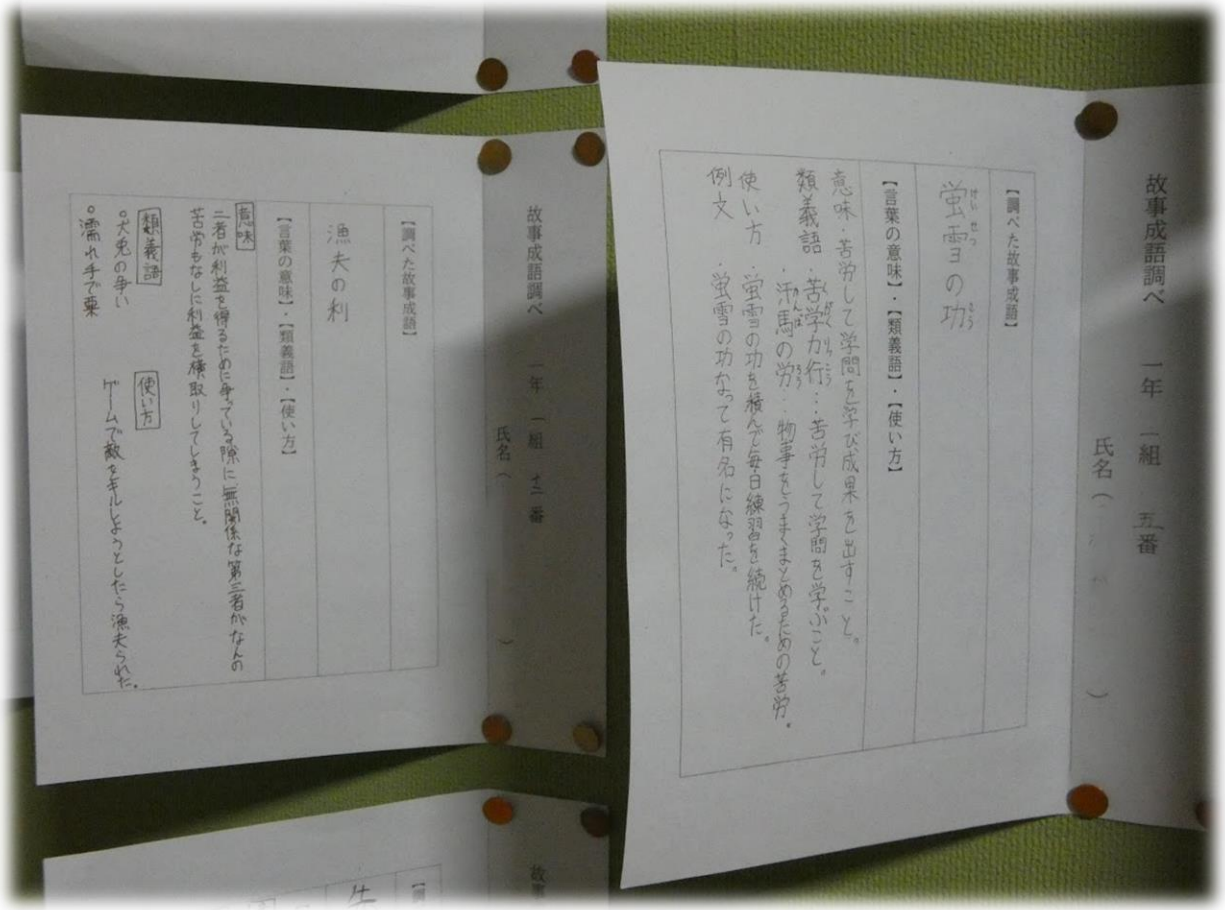
児童が好きな漢字を書く。

教師がランダムに漢字を発表する。

児童は発表された漢字を消していく。

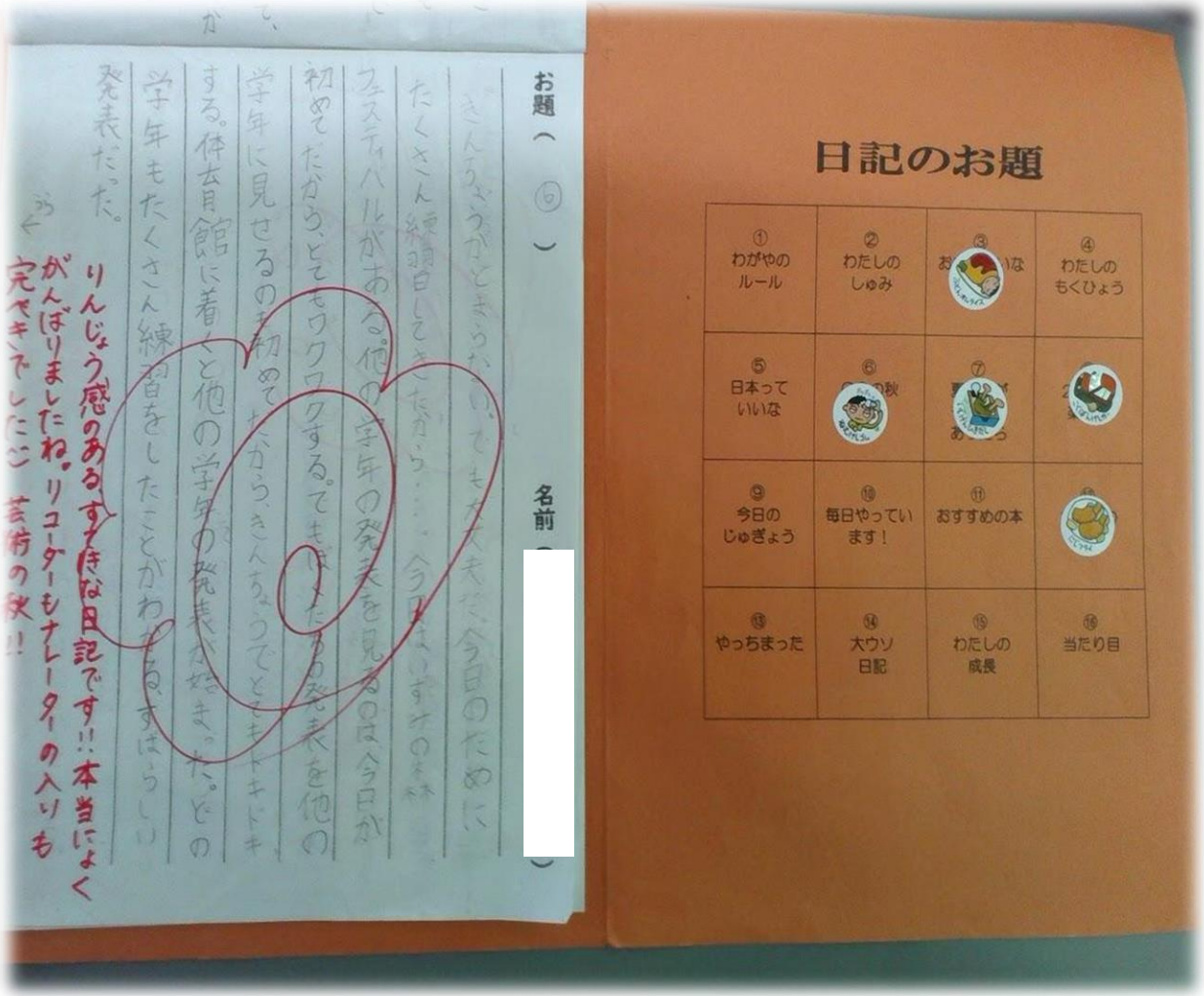
漢字の読み・書き

実践例「語彙の定着を図るために～故事成語～」



★意味や由来を自分の言葉でまとめる。
★自分で例文を作る。
★学年で共有する。

漢字の正しい使い方



実践例「お題日記」

出来事を羅列した
文章ではなくなる。

適切な言葉を考える
経験が増える。

楽しみながら
書く力が身に付く！

文章読解

実践例「長い文章や難しい文章を自ら読むようにするために～文章変換～」

文字情報だけでは処理しづらい……
→図式やイラストにすることで読み取った情報を書き留める・組み合わせる。

【変換の例】

物語	説明文・漫画・イラスト・図式化（人物関係図など）
詩	物語・イラスト
説明文	図式化（段落構成図、因果関係図）

【授業実践の取組の成果】

①中学校３年生（市立中学校の例）
　第１回と第２回での正答率の上昇値

・漢字問題（問１～問１３）……４．４ポイントＵＰ

・文章読解（問１４～問２０）…２．０ポイントＵＰ



【授業実践の取組の成果】

②中学校２年生（市立中学校の例）
　第１回と第２回での正答率の上昇値

・漢字問題（問１～問１３）……６．８ポイントＵＰ

・文章読解（問１４～問２０）…４．１ポイントＵＰ



【授業実践の取組の分析】

結論Ⅰ

・思考力の向上には時間がかかる。



➡小・中・義務教育の９年間を通した、系統的・継続的な指導が必要である。

➡学習効果を急がず、楽しんで取り組める授業展開が必要である。

【授業実践の取組の分析】

結論２

・漢字の習得は早い。

・中３は入試用対策、紛らわしい漢字で正答が上がる。

・中２は、授業の語彙指導で出てきたところの正答が上がる。



➡漢字は、学習効果が高い。

➡授業展開を工夫し、語彙指導と共に取り組ませるのが効果的。

令和7年度（2025年度）
教育研究所設置委員会成果発表会

学力向上推進委員会
～国語部会～

あなたのみちを、あるけるまち。八王子

令和8年（2026年）1月19日（月）
学力向上推進委員会（国語部会）